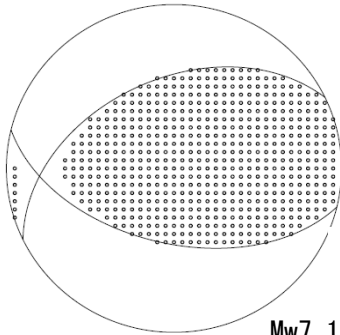


10月23日 トルコの地震 (W-phase を用いたメカニズム解析)

W-phase による解

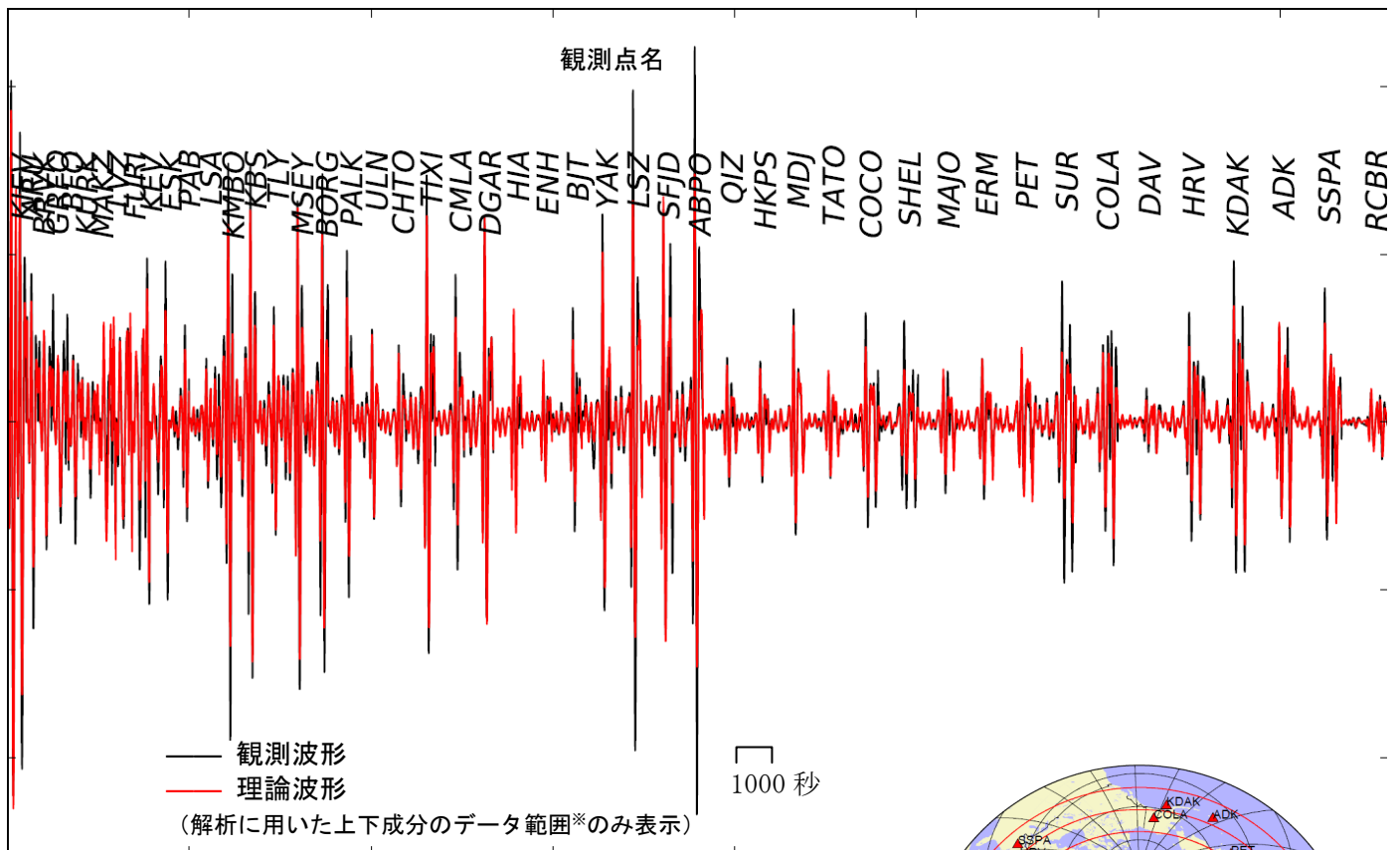


Mw7.1 (7.08)

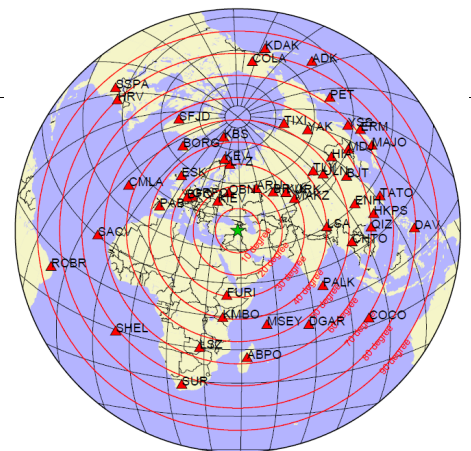
2011年10月23日20時09分（日本時間）にトルコで発生した地震についてW-phaseを用いたメカニズム解析を行った。メカニズム、Mwとも、Global CMTなどの他機関の解析結果とほぼ同様であり、Mwは7.1であった。なお、W-phaseの解析で求めた震源はN38.9°, E43.5°, 深さ14kmとなった。

W-phaseの解析では、震央距離10°～90°までの51観測点の上下成分、16観測点の東西成分、15観測点の南北成分を用い、100～300秒のフィルターを使用した。

注)W-phaseとはP波からS波付近までの長周期の実体波を指す。



※解析に用いたデータの範囲は15秒×震央距離(度)としており、
各々の観測点の解析区間のみを繋げた波形を表示している。



解析に使用した観測点配置

(W-phase に関する参考文献)
Kanamori, H and L. Rivera (2008): Geophys. J. Int., **175**, 222-238.

IRIS-DMC より取得した広帯域地震波形記録を使用した。また、解析に使用したプログラムは金森博士に頂いたものを使用した。記して感謝する。